



7月13日(水)

2022年(令和4年)

発行所:東京都千代田区一ツ橋 1-1-1
〒100-8051 電話(03)3212-0321

毎日新聞東京本社



平和な未来を創る

事業活動を通じて社会課題の解決に取り組む「LIFUL」の井上高志社長が「#地球塾2050」で講演しました。参加した東京都千代田区立麹町中学校の1〜3年生20人に「自分たちの手で求める未来を作ることができる」と呼びかけました。

どこでも住める世界へ

井上社長は人類の幸福と世界平和は、心と社会システムとテクノロジーできると考えている。

特にその中のテクノロジーでは、どんなにエネルギーや水などの既存のライフラインがない環境でも、完全オフグリッド環境の生活実装を目指している。これを実現すると環境にしばらくのことなく、どのような環境でも住んだり働いたりすることができ、場所の制約から解放されることになる。



完全オフグリッド環境で

生活することができるようになれば、僕は海の上に家を作ってみたい。海に囲まれた環境で勉強などをする、楽しく生活できると思った。(野口明寛)

2050を創る

「社長も子供時代はダメだったんですよ」。こう話す井上社長。僕が一番驚いたのはその一言。僕は、大きな仕事をする人は大体、有名な学校を卒業しているものだと思っていたから、驚いた。社長が子供の頃は、自分が将来、地球規模の問題に取り組むと思っていなかったそうだ。なか僕にも将来の希望が見えたように思った。だから、地球塾で将来への楽しみができた。

井上社長らの計画している「未来の家」について、グループやスタッフの人た

ちと話し合っ、それぞれ面白い意見が出た。鉄道が好きな僕が考えたのは、古くなった電車の中を家にして線路に置き、毎日車内で暮らす家。

この話題で、他の人と話すと、どれだけアイデアがふくらむかを実感できて、良かった。(平田憲太郎)



美しい地球を目指して

私はこれまで人類の幸福と世界平和を強く願っていたが、この大きな問題は仕事と結びつけることは難しいと思っていた。しかし井上社長は大きなビジョンを自分事として考え、LIFULという会社を立ち上げ、利益も上げる会社として成功している点に感動した。

美しい地球を作るため、CO2を排出しない再生可能エネルギーへの転換が重

要だと思う。そして私は地球上の人々が友達だと思える思いやりのある地球の未来を作りたい。自分が地球の一員として、地球のことを自分事として考え行動することで未来が変わっていく。数年前からオンライン会議や授業に適応したように、人間には適応力がある。(門田将紀)

世界平和への挑戦

井上社長のヴィジョンは47年後には全世界の平和を実現としている。

現在の地球では紛争が絶えないが、井上社長は戦争の当事者は戦争せざるをえない状況にいることが多い、それを解決するためには貧富の差をなくさないといけないと考える。

世界の平和という誰しもが解決したいとは思っている問題に、実際に立ち向かう社長を見て、私は何事も試してみなくてはわからない、実現を目指して戦うことの重要性に気が付いた。

日ごろの意識や、募金なども重要だが、やはり、社会問題などの大きい問題を解決するためには、行動を起こして根本的な解決を目指すしかないのだ。

(人見健太)